

お父さんのお守り

私が小学校5年生の夏休みのことです。

私は、洋服ダンスを整理する母を手伝っていました。

父の上着のポケットに入っているものを出しては母に手渡していたのですが、その中に父の定期入れがありました。その定期入れにはメモ用紙がはさんでありました。

そのメモ用紙に書かれていたのは、「おとおさん」という、鉛筆書きのつたない文字でした。それは、幼い頃の私が書いた字でした。そして「おとおさん」と書かれた横には、特徴のある父の字で次のように書かれていました。

[6月15日 初めて「お父さん」と書く]

父がなぜそのメモ用紙を大事そうに持っているのだろうかと思いました。そこで、私は「お父さんの上着にこんなのが入ってたんだけど・・・」と、母にメモ用紙を見せて聞いてみました。

すると母は次のように言いました。

「それはお父さんのお守りよ。大事な会議の前で緊張している時、しんどいなあって時は上着の上からそれをさわって、『大丈夫。大丈夫。』って心の中で言ってるらしいよ。」

「へえ、お父さんって、どんなにしんどくても、強いから平気だと思ってた・・・」

「そんなわけないでしょ。お父さんにだって、しんどい時やつらい時はあるのよ。大人でも子どもでも・・・」

「そうか・・・お父さんて、いつも元気で強いからスーパーマンみたいと思ってた。これからお父さんのこと、『お守りをもってるスーパーマン』て呼ぶわ。」

「『お守りをもってるスーパーマン』それはいいねえ。」

母はやさしく微笑んでいました。

私の前ではいつも元気に笑っている父にも、しんどい時やつらい時があることを知りました。そして、自分が書いた「おとおさん」というメモを大事なお守りとしていてくれることを知って、大変驚いたのでした。

現在、私は2人の子どもの父親です。

「いつも元気で明るくて、悩みなんて何もないでしょう。」と同僚や友だちから言われることがあります。でも、私にだってしんどいことやつらいことはあります。

今になって、私のメモをお守りにしていた父の気持ちが、少しは分かるようになりました。

外見的には気丈に、元気で、明るくふるまっている人でも、他人には言えない悩みやしんどいことがあると思います。

さまざまな思いを抱えながら私たちは日々生活しています。そんな毎日の中では、家族や仲間の支えというものがなくてはならないものです。そして、自分を支えてくれる人たちに感謝するとともに、自分も誰かの支えになればと思います。